

野球部は都市対抗野球大会で連続優勝を果たす

松本新太 新社長



FUJIKURA HISTORY

第2代社長の就任:昭和13年、松本留吉初代社長が永眠。その人格と経営手腕により、電線メーカー大手「技術の藤倉」の地位を築いた。堅実経営と謙虚な姿勢は松本新太新社長に引き継がれ、さらに体制を強化、文化・体育活動も大いに奨励した。

Shaping the future with "Tsunagu" Technology.

FUJIKURA NEWS

2018 No.444 7



NTT殿向け2000心SM型 光ファイバWBZケーブル納入開始

当社は、西日本電信電話株式会社九州事業本部殿向けに、熊本の震災復興用として間欠接着型光ファイバテープ心線を実装した2000心SM型光ファイバWBZケーブルを受注し、国内で初めて納入し、株式会社SYSKEN殿にて施工されました。

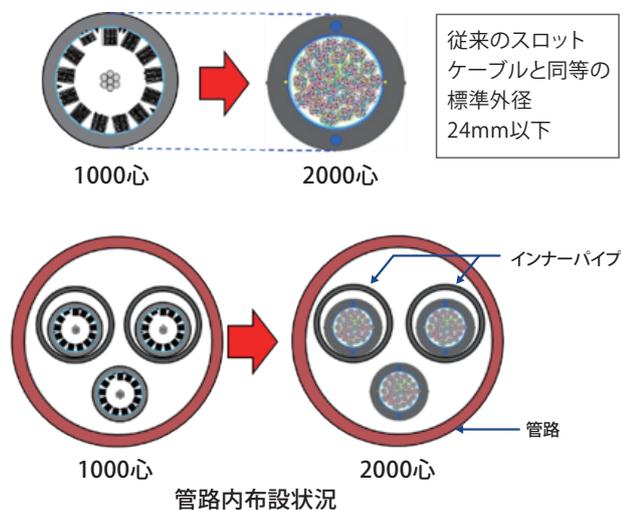
本ケーブルは、間欠接着型光ファイバテープ心線を用いたスロットレス構造のケーブルで、従来の1000心スロットケーブルと外径が同等のため、1管路当たり収容心数が2倍を実現しました。これにより、既存の管路の更なる有

効活用が可能になります。

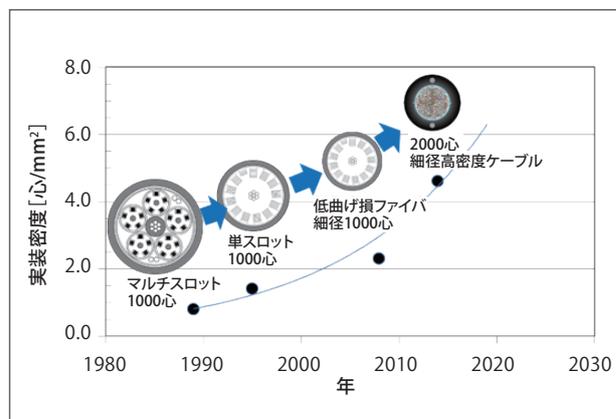
多心光ファイバケーブルは、これまでマルチスロット型のケーブルから始まり、単スロットケーブル、間欠接着型光ファイバテープ心線を実装したスロットレス構造の細径高密度ケーブルへと変遷してまいりました。

現在、NTT殿ではスロット型ケーブルからスロットレス構造のケーブルへ切り替えが進んでおり、弊社は本ケーブルの開発、製造、供給を行うことで、高度情報化社会の更なる発展に貢献してまいります。

● 多心細径高密度ケーブルの効果



● 多心光ケーブル高密度化の変遷





TEC PANDAファイバ

当社は、シリコンフォトニクス技術を利用した最新の通信デバイスに適した偏波保持光ファイバをリリースします。シリコンフォトニックデバイスの導波路は屈折率が高く、光ファイバと比較しMFD*1が小さくなります。MFDの大きな差は導波路と光ファイバの接続損失の増大をもたらします。接続損失の低減を狙い、小さいMFDと熱拡散コア (Thermally-diffused Expanded Core: TEC) 技術を適用した偏波保持光ファイバ(TEC PANDA*2ファイバ)を開発しました。TEC PANDAファイバの小さいMFDは、シリコン導波路との接続損失を低減します。さらに、標準PANDAファイバとの融着時には、放電熱でMFDが拡大され接続損失が低減されます。今後も特殊ファイバ技術を生かし、社会に貢献できる製品の開発を進めます。

*1 Mode Field Diameterの略。ファイバ中を伝搬する光の広がりを示す指標のひとつです。
*2 PANDA (Polarization-maintaining AND Absorption-reducing) ファイバは偏波保持光ファイバの代表的な型で、伝送光の偏光状態が外乱による影響を受けにくいという特長があります。

● RC13-15-PS-U17E-M4-T仕様

項目	仕様
偏波クロストーク [dB/2 m]	-25 以下*3
伝送損失 [dB/km]	30 以下*3
カットオフ波長 [μm]	1.28 以下
モードフィールド径 [μm]	4.0 ± 0.3*3 3.4 ± 0.4 *4
クラッド径(長径) [μm]	80 ± 1
許容最小曲げ半径 [mm]	5
被覆外径 [μm]	165 ± 15

*3:波長1.55 μm *4:波長1.31 μm

光ファイバ事業部 optodevice@jp.fujikura.com



ケーブル技術ショー2018

日時 2018年7月19日(木)・20日(金)
9:30~18:00 (20日は17:00まで)

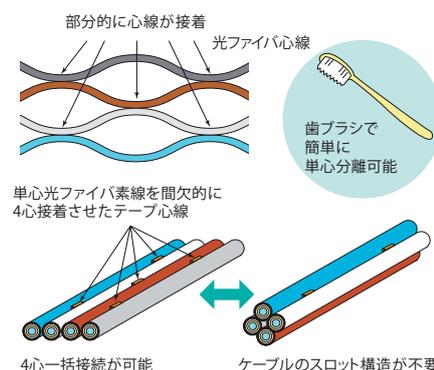
場所 東京国際フォーラム 展示ホール
フジクラブース No.B-08

当社は、7月19日20日に開催の「ケーブル技術ショー2018」に出展します。「ケーブル技術ショー2018」は、「4K・8K推進のためのロードマップ」(総務省)に描かれる2020年、2025年を目指し、最先端ケーブル技術と共にある未来生活・社会像といった「未来ビジョン」を発信することを目的に開催されます。

当社ブースでは、新時代光ネットワークソリューションの提案をテーマに、従来ケーブルよりも格段の細径軽量を実現した光スロットレスケーブルを中心に、そのケーブルの口出し工法、クロージャへの引留め、今後のラインナップやロードマップなどを紹介します。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

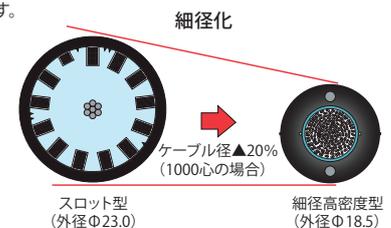
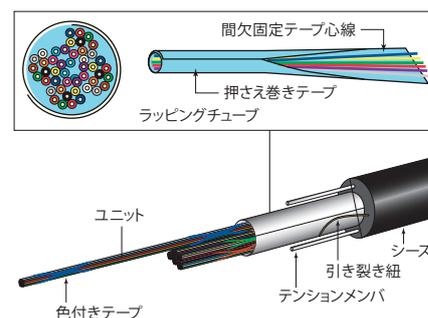
Spider Web Ribbon® (SWR®)

- 複数心の光ファイバを並列して間欠的に接着。
- 容易に変形することによりケーブルのスロット構造が不要。
- 接続時は並列形状に復帰し、テープ一括接続が可能。



Wrapping Tube Cable® (WTC®)

- SWRを押し巻きテープでラッピングした構造になっています。
- シース除去作業で安心、安全に口出しすることが可能。



ケーブルコンベンション関連イベント
ケーブル技術ショー
Cable Tech Show 2018
<https://www.catv-f.com/>

光ケーブルシステム事業部 技術部 telcon@jp.fujikura.com

お知らせ

formation

イノベーションHub「BRIDGE」を開設



BRIDGE

Fujikura Innovation Hub

- 平日9:00～18:00
- 会員登録制

当社では、イノベーション創出活動の強化にあたり、本社R&Dセンター7FにイノベーションHub「BRIDGE」を開設致しました。「BRIDGE」はイベントスペース、コワーキングスペース、ミーティングスペース等で構成されており、企業・団体、研究機関、行政・自治体等から多様な方々が集い、当社と価値共創を実現していくための空間です。様々な考え方や技術等に触れることで、たくさんの刺激や気づきを得て、私たち自身も大きく変化・進化していくことを目指します。

イノベーションをテーマとしたセミナー、先進テクノロジー・気鋭のベンチャー企業の紹介イベントに加え、社会課題解決に向けたシンポジウムやワークショップ、各種交流会等様々なプログラムを実施していきます。

BRIDGE WEBお問合せ www.bridge.fujikura.jp/contact/02/index.php

エネルギー
情報通信

6kV移動用電力ケーブル

高度情報化社会において、商業・工業・居住各エリアへ電力を供給している変電所は、停電等が発生すると社会的影響が大きい重要な設備です。

6kV移動用ケーブルは、変電所での工事時、あるいは事故災害時において、停電箇所をバイパス接続することができ、停電時間を最小限とすることが可能です。また、移動電源車からの電力を変電所へ供給することも可能です。

フジクラコンポーネッツでは30年以上、6kV移動用ケーブルを製造・販売しており、お客様のニーズにあわせた製品納入が可能です。

- **適用規格**：電力用規格 B-1220「移動用電力ケーブル」
- **仕様**：ケーブル：6kV CV 325～800mm² 長さ～50m
 端末部：屋外用(汚損区分0.35mg/cm²まで適用可)
 または機器直結仕様
 ケーブル巻枠：鉄製コンテナまたはドラム
- **性能**



● コンテナ内部

● 移動用コンテナ

項目	性能
商用周波耐電圧	13kV×1時間(常温)
雷インパルス耐電圧	±85kV×3回(常温)
部分放電電圧	9kV×10分(常温)で部分放電が検出されないこと

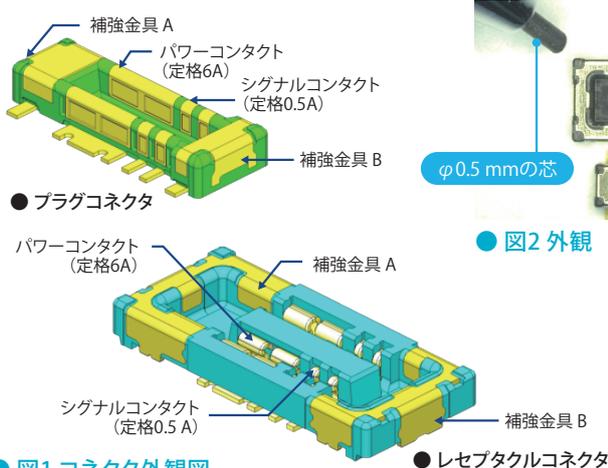
株式会社フジクラコンポーネッツ haiden-info@jp.fujikura.com



スマートフォン用バッテリーコネクタ BTKシリーズ

近年、スマートフォンやモバイル機器において、バッテリーの大容量化や急速充電の要求が高まり、充電用コネクタの大電流化・小型化が求められています。当社はこの要求に対応し、定格電流6Aのパワーコンタ

クト2端子、定格電流0.5Aのシグナルコンタクト4端子を配置した(図1)、嵌合高さ0.7mm, 長さ4.9mm, 幅2.2mmの大電流用小型コネクタを開発しました。



● 表1 仕様

嵌合高さ	0.7mm
定格電圧	AC15V (r.m.s.) / DC15V
定格電流	0.5 A シグナルコンタクト 6.0 A パワーコンタクト
耐電圧	AC100V(r.m.s.) / 1分間
絶縁抵抗	DC100Vで100MΩ以上
接触抵抗	20mΩ以下 シグナルコンタクト 10mΩ以下 パワーコンタクト
使用温度範囲	-40℃～+85℃
芯数	シグナルコンタクト : 4 パワーコンタクト : 2

✉ コネクタ開発部

ddk.contact@jp.fujikura.com



トムソン・ロイター

「Top 100グローバル・テクノロジー・リーダー2018」受賞

当社は、世界的な情報サービス会社であるトムソン・ロイター(Thomson Reuters、本社:米国ニューヨーク)による「Top 100グローバル・テクノロジー・リーダー2018」に選出され、5月16日にトロフィを授与されました。「Top 100グローバル・テクノロジー・リーダー2018」は、世界5,000社のテクノロジー企業を対象に、「財務」「経営および投資家からの信頼」「リスクとレジリエンス(問題・危機への耐性や回復力)」「法令順守」「イノベーション」「人的・社会的責任」「環境への影響」「社会からの評価」という8分野28項目にわたる実績を評価することにより、選出されたものです。

当社は特に「イノベーション」において、良質な発明による高い特許成立率が評価されました。2020中期経営計画の重点施策である新規事業創出のスピードアップ、オープンイノベーション、ESGへの取組み等をこれからも積極的に進め、将来性ある未来に続く会社であり続けます。



トロフィを授与される和田専務取締役



スピーチをする和田専務取締役

✉ 総務・広報部

wwwadmin@jp.fujikura.com



株式会社フジクラ Fujikura Ltd.

“つなぐ”テクノロジー 製品ニュース No.444
発行:2018年7月 編集兼発行責任者:森本 朋治
〒135-8512 東京都江東区木場1-5-1
<http://www.fujikura.co.jp>

営業企画部 TEL:03-5606-1092
関西支店 TEL:06-6364-0373
中部支店 TEL:052-212-1880
東北ブロック TEL:022-266-3344
九州ブロック TEL:092-291-6126

